

中小企業景況調査報告書

令和7年 1 ～ 3月期 実績
令和7年 4 ～ 6月期 見通し

鹿児島県商工会連合会

(令和7年4月発行)

この調査は、商工会地域の産業状況等地域の経済動向について、四半期毎に変化の実態等諸状況を迅速・的確に収集して、全国商工会連合会と連携し、全国一斉に実施しているものです。

この報告書の中で、用いられているD・I指数とは、ディフュージョン・インデックスの略で、【増加・上昇・好転】の割合から【減少・低下・悪化】の割合を差し引いた値で企業経営者の景気動向を表す指数として利用されています。

〈お天気マークの説明〉

 特に好調 +30.0 以上	 好 調 +29.9～ +10.0	 まあまあ +9.9～ ▲9.9	 不 振 ▲10.0～ ▲29.9	 極めて不振 ▲30.0 以上
---	--	---	--	--

- 調査対象期間 令和7年1～3月期を対象とし、調査時点は令和7年3月1日とした。
令和7年4～6月期は予測値となる。
- 調査方法 商工会の経営指導員による訪問及び面接調査による。
- 調査対象商工会 かごしま市・南九州市・さつま町・鶴の町・伊佐市・始良市・霧島市
志布志市・大崎町・垂水市・錦江町・西之表市・龍郷町・徳之島町
- 回答企業 対象企業 207 企業
製造業：43 企業 建設業：29 企業 小売業：58 企業 サービス業：77 企業

県内産業別業況DI

	製造業	建設業	小売業	サービス業
6年 1 月 ～ 3 月 期	 ▲2.2	 6.7	 ▲23.2	 ▲7.8
6年 4 月 ～ 6 月 期	 ▲9.1	 7.2	 ▲27.6	 ▲2.5
6年 7 月 ～ 9 月 期	 ▲16.7	 ▲7.4	 ▲19.0	 ▲19.5
6年 10 月 ～ 12 月 期	 ▲9.3	 11.1	 ▲25.9	 ▲11.5
7年 1 月 ～ 3 月 期	 ▲18.6	 10.4	 ▲13.8	 ▲26.0
来期見通し(4～6月期)	 ▲2.3	 ▲3.4	 ▲24.1	 ▲19.5

総合（業況）

前年同期（令和6年1月～3月期）と比較した今期（令和7年1月～3月期）の業況は、製造業 ▲18.6（前年同期比 16.4ポイント悪化）、建設業 10.4（前年同期比 3.7ポイント改善）、小売業 ▲13.8（前年同期比 9.4ポイント改善）、サービス業 ▲26.0（前年同期比 18.2ポイント悪化）となった。

また前期（令和6年10月～12月期）と比較すると、製造業 9.3ポイント悪化、建設業 0.7ポイント改善、小売業 12.1ポイント改善、サービス業 14.5ポイント悪化となった。今期については、原材料の価格高騰や最低賃金アップによる人件費の増加に加え人材確保難もあり、長引く価格高騰で先行きが見えず、消費が低迷している状況にある。

なお、来期（令和7年4月～6月期）の見通し（D・I）は、今期と比較すると、製造業 16.3ポイント改善、サービス業 6.5ポイント改善となる見通しとなるものの、建設業 13.8ポイント、小売業 10.3ポイント悪化の見通しとなり、燃料費の高騰により配送費など経費増、加えて4月の値上げラッシュが消費低迷ひいては需要の停滞をもたらし、中小企業・小規模事業者において利益の確保が厳しい状況が続くと思われる。

業種別景気動向

【製造業】 有効回答数 43 企業

調査対象企業内訳：食料品(18)、飲料・飼料・たばこ(8)、繊維工業(1)、衣類・その他繊維製品(1)、一般機械器具(1)、家具・装備品(2)、木材・木製品(2)、プラスチック製品(1)、印刷・同関連(4)、金属製品(3)、窯業・土石製品(1)、その他(1)

	売 上 額		採 算		資金繰り		業 況	
6 年 1 月 ～ 3 月期		▲8.9		▲15.6		2.3		▲2.2
6 年 4 月 ～ 6 月期		▲13.7		▲22.7		▲6.8		▲9.1
6 年 7 月 ～ 9 月期		▲19.0		▲45.2		▲11.9		▲16.7
6 年 10 月 ～12 月期		18.6		▲23.2		▲4.7		▲9.3
7 年 1 月 ～ 3 月期		2.3		▲23.3		▲11.9		▲18.6
来期見通し 4～6 月期)		2.3		▲6.9		0.0		▲2.3

<調査企業が感じている景気判断コメント>

- ・長期的に市場の経済状況は、低落傾向にあると思われる。少子・高齢化、人口減少による経済的ダメージは想定以上に大きい。地域格差、年代間格差や I T 格差など不可及なファクターが市場を席卷している。
(蒸留酒製造業)
- ・製造に欠かせない粉類が高騰しており、売上増分も感じさせないほど手元に残りにくくなってきている。
(生菓子製造業)
- ・今年から冷却設備の大幅な値上がりがあり、新規工事への影響が懸念される。設備の見直しや他メーカーの状況を確認しておく必要がある。
(強化プラスチック製容器・浴槽等製造業)

経営上の問題点

第 1 位	原材料価格の上昇	37.5%	(前期比	－7.7)
第 2 位	需要の停滞	17.5%	(前期比	＋3.2)
第 3 位	生産設備の不足・老朽化	7.5%	(前期比	＋2.7)
第 3 位	従業員の確保難	7.5%	(前期比	＋2.7)

【建設業】 有効回答数 29 企業

調査対象企業内訳：総合工事業(22)、職別工事業(3)、設備工事業(4)

	完成工事額		採 算		資金繰り		業 況	
6 年 1 月 ～ 3 月期		38.0		0.0		3.3		6.7
6 年 4 月 ～ 6 月期		3.6		▲3.6		0.0		7.2
6 年 7 月 ～ 9 月期		14.8		3.7		▲3.7		▲7.4
6 年 10 月 ～12 月期		25.9		▲ 3.7		7.4		11.1
7 年 1 月 ～ 3 月期		17.2		▲20.7		6.9		10.4
来期見通し 4～6 月期)		▲6.9		▲17.3		▲3.5		▲3.4

<調査企業が感じている景気判断コメント>

- ・人材不足により工期に遅れがでている。取引先から依頼をいくつか受けているが対応できていないのが現状である。人材不足が解消できれば解決できるが厳しいと感じている。
(木造建築工事業)
- ・工事の受注はある程度あるが、技術者や一般作業員が足りず下請けに依頼することが多くなってきている。
(一般電気工事業)
- ・D X を活用した業務効率化に取り組んでいる。
(一般土木建築工事業)

経営上の問題点

第 1 位	従業員の確保難	25.0%	(前期比	＋1.9)
第 2 位	材料価格の上昇	17.9%	(前期比	－12.9)
第 3 位	人件費の増加	14.3%	(前期比	＋6.6)
第 3 位	熟練技術者の確保難	14.3%	(前期比	－1.1)

【小売業】 有効回答数 58 企業

調査対象企業内訳：飲食料品(27)、各種商品(2)、織物・衣服・身の回り品(5)、家具・建具(3)、
自動車・自転車小売業(1)、その他(20)

	売 上 額		採 算		資金繰り		業 況	
6 年 1 月 ～ 3 月期		▲17.5		▲28.0		▲16.0		▲23.2
6 年 4 月 ～ 6 月期		▲27.6		▲34.5		▲22.4		▲27.6
6 年 7 月 ～ 9 月期		▲25.9		▲31.0		▲14.1		▲19.0
6 年 10 月 ～12 月期		▲28.1		▲35.1		▲21.4		▲25.9
7 年 1 月 ～ 3 月期		▲20.7		▲24.1		▲10.4		▲13.8
来期見通し 4～6 月期)		▲27.6		▲22.4		▲13.8		▲24.1

＜調査企業が感じている景気判断コメント＞

- ・ 3月よりコーヒー豆、生乳の価格が上昇しコーヒー牛乳・バターの仕入価格が上昇する。メーカーは値上げするが、販売店は契約解除を恐れ思い切った価格転嫁が出来ない。今期冬の低気温も顧客離れの原因となっている。(牛乳小売業)
- ・ 世の中の物価高、高齢化、人口減少等で動きが悪い。又、4月より建築基準法の大きな改正があり、動きをためらっている感がある。(ホームセンター)
- ・ 仕入単価の上昇に歯止めがかからない状況下で少しずつ金利が上昇している。キャッシュフローを圧迫してきている。(菓子小売業)

経営上の問題点

第1位 仕入単価の上昇	37.3% (前期比 +7.1)
第2位 需要の停滞	15.7% (前期比 +8.2)
第3位 大型店・中型店の進出による競争の激化	11.8% (前期比 +8.0)
第3位 消費者ニーズの変化	11.8% (前期比 +2.4)

【サービス業】 有効回答数 77 企業

調査対象企業内訳：洗濯・理美容業(16)、飲食店(28)、自動車整備業(11)、宿泊業(7)、
運送業(2)、その他(13)

	売 上 額		採 算		資金繰り		業 況	
6 年 1 月 ～ 3 月期		6.5		▲20.8		▲13.1		▲7.8
6 年 4 月 ～ 6 月期		0.0		▲25.7		▲7.7		▲2.5
6 年 7 月 ～ 9 月期		5.2		▲27.3		▲14.3		▲19.5
6 年 10 月 ～12 月期		1.3		▲24.4		▲11.7		▲11.5
7 年 1 月 ～ 3 月期		▲16.9		▲32.5		▲18.5		▲26.0
来期見通し 4～6 月期)		▲13.1		▲27.3		▲14.5		▲19.5

＜調査企業が感じている景気判断コメント＞

- ・ お米の仕入価格が上昇し、ご飯のおかわりなど関連するものは値上げに踏み切った。価格高騰が落ち着かないとランチなど値上げしづらい。(食堂・レストラン業)
- ・ 国交省によるバス料金下限価格が毎年引き上げられているので、顧客のバス離れ現象が生じる。適正価格を検討してほしい。(一般貸切旅客自動車運送業)
- ・ 消費が低迷しているように感じている。団体でのツアーによる観光客はある程度見られるが、個人旅行が減少しており、一方で新規参入は増加しているため、お客様が分散して売上に繋がっていない。(簡易宿所)

経営上の問題点

第1位 材料等仕入単価の上昇	38.0% (前期比 -7.9)
第2位 需要の停滞	18.3% (前期比 +4.8)
第3位 店舗施設の狭隘・老朽化	9.9% (前期比 +0.4)

全 産 業【鹿児島県】

令和7年1期～3月期

全 産 業

鹿児島県

2025年1月～3月期

	今期（前年同期比）					来期（対前年同期比来期見通し）				
	企業数	↗	→	↘	D I	企業数	↗	→	↘	D I
売上・完成工事・加工・収入額	207	26.6	37.7	35.7	-9.2	207	18.4	50.2	31.4	-13.0
売上（加工）単価・客単価	178	20.2	66.9	12.9	7.3	178	14.6	71.9	13.5	1.1
売上（加工）数量	43	18.6	46.5	34.9	-16.3	43	20.9	51.2	27.9	-7.0
客数	58	12.1	51.7	36.2	-24.1	58	6.9	58.6	34.5	-27.6
利用客数	77	22.1	37.7	40.3	-18.2	77	18.2	48.1	33.8	-15.6
資金繰り	205	6.3	76.1	17.6	-11.2	205	5.9	78.5	15.6	-9.8
輸出額	14	7.1	85.7	7.1	0.0	14	7.1	85.7	7.1	0.0
受注（新規契約工事）額	29	27.6	55.2	17.2	10.3	29	13.8	69.0	17.2	-3.4
原材料・商品等仕入れ単価	205	79.0	19.5	1.5	77.6	205	59.0	39.5	1.5	57.6
原材料在庫数量	42	14.3	81.0	4.8	9.5	42	9.5	83.3	7.1	2.4
商品仕入数量	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
商品仕入額	58	55.2	29.3	15.5	39.7	58	39.7	48.3	12.1	27.6
商品・商品在庫数量	99	8.1	76.8	15.2	-7.1	99	3.0	81.8	15.2	-12.1
採算（経常利益）	207	8.2	57.0	34.8	-26.6	207	7.7	64.3	28.0	-20.3
従業員（含臨時・パート）	167	8.4	85.0	6.6	1.8	167	2.4	71.3	6.0	-3.6
外部人材（請負・派遣）	91	3.3	89.0	7.7	-4.4	91	2.2	89.0	8.8	-6.6
設備操業率	43	2.3	79.1	18.6	-16.3	43	4.7	83.7	11.6	-7.0
引合	68	11.8	66.2	22.1	-10.3					0.0
受注・契約残	72	9.7	76.4	13.9	-4.2					0.0
業況（自社）	207	9.7	64.7	25.6	-15.9	207	6.8	71.5	21.7	-15.0

	今期（前期比）					来期（対当期比見通し）				
	企業数	↗	→	↘	D I	企業数	↗	→	↘	D I
売上・完成工事・加工・収入額	207	16.9	48.8	34.3	-17.4					
売上（加工）単価・客単価	178	15.2	71.9	12.9	2.2					
売上（加工）数量	43	18.6	46.5	34.9	-16.3					
客数	58	5.2	60.3	34.5	-29.3					
利用客数	77	20.8	41.6	37.7	-16.9					
資金繰り	205	4.4	79.5	16.1	-11.7					
業況（自社）	207	8.2	68.6	23.2	-15.0	207	8.2	70.5	21.3	-13.0
受取手形期間	40	0.0	95.0	5.0	-5.0	40	0.0	97.5	2.5	-2.5
長期資金借入入難度	158	4.4	88.6	7.0	-2.5	158	3.2	89.9	7.0	-3.8
短期資金借入難度（含手形割引）	134	5.2	89.6	5.2	0.0	134	3.7	91.8	4.5	-0.7
借入金	158	17.7	81.6	0.6	17.1	158	17.7	81.0	1.3	16.5

	今期の水準				
	企業数	↗	→	↘	D I
業況（自社）	207	10.1	58.0	31.9	-21.7
生産に対する原材料在庫	42	4.8	85.7	9.5	-4.8
売上に対する製品在庫	100	6.0	88.0	6.0	0.0
採算（経常利益）	207	17.9	64.3	17.9	0.0
引き合い	68	8.8	73.5	17.6	-8.8
生産設備	43	4.7	83.7	11.6	-7.0
従業員（含臨時・パート）	186	2.2	74.2	23.7	-21.5

上2表

↗：増加・上昇・好転・長期化・容易

→：不変

↘：不足・低下・悪化・短期化・困難

左表

↗：良い・過剰・黒字・活発

→：ふつう・適正・収支トントン・ふつう

↘：悪い・不足・赤字・低調